資料２

「（仮称）高知市未来ビジョン」構成趣旨の変更について

R8.7月時点				R8.8月時点			
構成	章	主な内容	構成趣旨	構成	章	主な内容	構成趣旨
メッセージ	市長 メッセージ	計画に込めた思い等		メッセージ	市長メッセージ	計画に込めた思い等	計画に込めた市長の思い等を掲載する。
				計画策定の趣旨	計画策定の趣旨	計画策定の目的、背景等	総合計画策定の目的や背景、意図等を説明する。
理念	第１章 高知市の 未来像	本市が掲げる将来の都市像・理念	本市が掲げる将来の都市像を示すもので、現行計画の「基本構想」に相当する部分であり、さらに、「市民のしあわせの追求」を独立節として配置することで、計画全体の理念を明示する。 「しあわせ」の概念は、ウェルビーイング（身体的、精神的、社会的に良好な状態）の視点を踏まえつつ、本市固有の価値や強み（豊かな自然、食文化やよさこい等の地域資源、人柄等）を加味したものとする。 最初に理念を示すことで、第２章以降の内容がこの理念に向かって構成されていることを読み手が意識できる構造とする。	理念	第１章 高知市の 未来像	本市が掲げる将来の都市像・理念	本市が掲げる将来の都市像を示すもので、現行計画の「基本構想」に相当する部分であり、さらに、「市民のしあわせの追求」を独立節として配置することで、計画全体の理念を明示する。 「しあわせ」の概念は、ウェルビーイング（身体的、精神的、社会的に良好な状態）の視点を踏まえつつ、本市固有の価値や強み（豊かな自然、食文化やよさこい等の地域資源、人柄等）を加味したものとする。 最初に理念を示すことで、第２章以降の内容がこの理念に向かって構成されていることを読み手が意識できる構造とする。
現状認識	第２章 高知市の現状	統計等の客観的データ、高知市の強み	高知市の現状を整理する章として構成する。単純なプロフィールや統計情報だけでなく、市政における課題点や、様々な市民や団体との意見交換等を引き続き行いながら、本市ならではの「強み」についても深掘りし、本章に記述することとする。 ※現状を打破するために求められるアプローチの記述は第３章へ移動	現状認識	第２章 高知市の現状	統計等の客観的データ、高知市の強み	高知市の現状を整理する章として構成する。単純なプロフィールや統計情報だけでなく、市政における課題点や、様々な市民や団体との意見交換等を引き続き行いながら、本市ならではの「強み」についても深掘りし、本章に記述することとする。
横断課題	第３章 未来像の実現に向けた分野を超えたチャレンジ	多くの施策に影響を与える課題への対応	人口減少や南海トラフ地震といった、地域の経済、産業、社会福祉、公共サービスなど生活と関わりが深い様々な社会環境に影響を及ぼす事象を踏まえ、第１章で掲げた将来の都市像を実現するために、様々な分野が横断的に連携して取り組むべき「４つのアプローチ」を示す。 全市的に共通認識を持ち、分野横断的に取組を進めることを明記するとともに、第４章に記載する６つの「しあわせの柱」に沿った施策においても、第３章の考え方が踏まえられていることをこの章で予告しておく。	横断課題	第３章 未来像の実現に向けた分野を超えたチャレンジ	R8.7月時点案の第3章と第4章を統合	人口減少や南海トラフ地震といった、地域の経済、産業、社会福祉、公共サービスなど生活と関わりが深い様々な社会環境に影響を及ぼす事象を踏まえ、第１章で掲げた将来の都市像を実現するために、様々な分野が横断的に連携して取り組むべき「４つのアプローチ」を示す。 全市的に共通認識を持ち、分野横断的に取組を進めることを明記するとともに、第４章に記載する６つの「しあわせの柱」に沿った施策においても、第３章の考え方が踏まえられていることをこの章で予告しておく。
-	-	-	-	分野横断的視点	（第３章の序論） 第３章 未来像の実現に向けた施策の展開 －６つの「しあわせの柱」と施策－	市役所に求められる分野を超えた共通の考え方	人口減少や南海トラフ地震といった、地域の経済、産業、社会福祉、公共サービスなど生活と関わりが深い様々な社会環境に影響を及ぼす事象を踏まえ、第１章で掲げた将来の都市像を実現するために、様々な分野が横断的に連携して取り組むべき「４つの視点」を示す。 全市的に共通認識を持ち、分野横断的に取組を進めることを明記するとともに、第３章の本論として記載する６つの「しあわせの柱」に沿った施策においても、「４つの視点」が踏まえられていることをこの章で予告しておく。
施策内容	第４章 ６つの「しあわせの柱」と施策	６つの「しあわせの柱」に分類される施策の内容	（1）市民生活における６つの価値に基づく「しあわせの柱」に沿った施策分類 行政の縦割り分類に縛られず、市役所が市民生活に対して提供したいと考えている価値（全庁アンケート調査から得られた分析結果）を大きく６つに分類し、それらを「暮らし」「しあわせ」をキーワードとした市民の実感に置き換え、理想の未来像を表現する「しあわせの柱」（=大綱のレイヤー）を設定した。	施策内容	（第３章の本論） 第３章 未来像の実現に向けた施策の展開 －６つの「しあわせの柱」と施策－	６つの「しあわせの柱」に分類される施策の内容	（1）市民生活における６つの価値に基づく「しあわせの柱」に沿った施策分類 行政の縦割り分類に縛られず、市役所が市民生活に対して提供したいと考えている価値（全庁アンケート調査から得られた分析結果）を大きく６つに分類し、それらを「暮らし」「しあわせ」をキーワードとした市民の実感に置き換え、理想の未来像を表現する「しあわせの柱」（=大綱のレイヤー）を設定した。
			（2）架空の市民を主役とした物語による施策の提示 施策と市民の暮らしを結びつけて理解できるよう、各「しあわせの柱」の冒頭には、「しあわせの柱」ごとの主人公（架空の市民）による暮らしのワンシーンを配置し、諸施策が市民の人生にどう関わるかを示すことで、市民にとって実感しやすい／分かりやすい伝え方とする。				（2）架空の市民を主役とした物語による施策の提示 施策と市民の暮らしを結びつけて理解できるよう、各「しあわせの柱」の冒頭には、「しあわせの柱」ごとの主人公（架空の市民）による暮らしのワンシーンを配置し、諸施策が市民の人生にどう関わるかを示すことで、市民にとって実感しやすい／分かりやすい伝え方とする。
			（3）分野横断的取組を「しあわせの柱」ごとに提示 第３章において明示した分野横断的に取り組む「４つのアプローチ」について、「しあわせの柱」１～６との関連を示すため、各「しあわせの柱」の末尾に「「４つのアプローチ」とのつながり」を配置し、全庁横断的な取組の必要性を強調する。				（3）分野横断的取組を「しあわせの柱」ごとに提示 第３章において明示した分野横断的に取り組む「４つの視点」について、「しあわせの柱」１～６との関連を示すため、各「しあわせの柱」の末尾に「「４つの視点」とのつながり」を配置し、全庁横断的な取組の必要性を強調する。
			（4）施策の記述に当たっての統一項目 各施策は以下の項目で統一的に記述する。「暮らしの変化」を冒頭に配置し、施策を実施する目的を市民目線で明示する構造とする。 ・「私たちが目指す「未来の暮らしの姿」」（暮らしの変化） ・「今、向き合うべき現在地」（課題認識） ・「未来を創るためのアクション」（取組内容） ・「関連する他の「しあわせの柱」の施策」（施策の関連）				（4）施策の記述に当たっての統一項目 各施策は以下の項目で統一的に記述する。「暮らしの変化」を冒頭に配置し、施策を実施する目的を市民目線で明示する構造とする。 ・「私たちが目指す「未来の暮らしの姿」」（暮らしの変化） ・「今、向き合うべき現在地」（課題認識） ・「未来を創るためのアクション」（取組内容） ・「関連する他の「しあわせの柱」の施策」（施策の関連）
進捗管理	第５章 計画の進捗管理	評価・見直しの仕組み	第５章は、計画を運用するための仕組みを示す章として構成する。 実施計画との関係性や、計画の機動的な変更、施策及び事業の評価方法・評価サイクル等について提示する。	計画の構成等	第４章 計画の構成等	計画の構成・位置付け・進行管理	計画の構成・位置付け、進行管理の方法を記述する。 進行管理については、実施計画との関係性や、計画の機動的な変更、施策及び事業の評価方法・評価サイクル等について提示する。
資料	巻末資料	策定経過、参考情報等		資料	巻末資料	策定経過、参考情報等	